2023年度前期　下関短期大学　「学修成果把握アンケート」の概要

1　趣　旨

このアンケートは、下関短期大学学則第1条の2の規定に基づき、本学の教育研究活動等の状況についての点検評価活動の一環として実施したものです。

2　目　的

「学修成果の可視化」を推進する一環としてこのアンケート調査を行い、その結果をもとに学生は自己の学修を振り返り、教員は授業の改善に役立てるとともに、ファカルティ・ディベロップメント活動を促進し、ひいては本学の教育活動の質の向上に資することを目的とします。

3　調査の実施方法等

（1）　調査方法

ア　調査は授業開講時と修了時に実施しました。

イ　調査は開講時・修了時に各授業担任教員が学生に調査票を配付し、学生が回答したものを回収する方法で実施しました。

（2）　質問項目と評価

質問項目は、授業担当教員がシラバスに基づいて学生に修得させたい「態度」「知識・理解」「技能」等について10項目を設定しました。

なお、非常勤講師については、5項目を設定しました。学生は各項目について、「A　当てはまる（3点）」、「B　やや当てはまる（2点）」、「C　当てはまらない（1点）」を選び回答しました。

また、修了時には当該授業を受けたことによって知識・理解や技能が総合的に「向上した」「やや向上した」「余り変わらない」を選び回答しました。

4　調査結果のフィードバック

（1）9月13日（水）の教授会（FD研修会）にて「全体集計結果」を共有し、授業改善についてFD研修を行いました。

（2）各教員は「担当授業科目ごとの集計結果」をもとに、設定目標・授業内容・授業方法の見直しなど授業改善を一層進めます。

（3）学生は授業開講時と修了時を比較すること、及び全体の集計結果（経年比較）（その授業を通して「向上した」「やや向上した」「余り変わらない」）により、当該授業での「学修」を振り返りました。

5　調査結果の公表

集計は「一般教育科目」「栄養健康学科専門科目：1年次」「同2年次」「保育学科専門科目：1年次」「同2年次」ごとに行いました。

ただし、「非常勤講師による授業」は別に集計しました。以下に集計結果の概要を掲載します。（経年比較については学生に配布しました。）

常勤教員担当科目

【一般教育科目】

（1） 対象科目

生活と芸術（栄2・保2）、国語とことば（栄1・保1）、国語表現法（栄2）、化学（栄1）、情報機器操作入門（保1）、英語表現Ⅰ（栄1・保1）、キャリア総合Ⅰ（保1）、キャリア総合Ⅱ（保2）、

（2） 各項目の平均ポイント

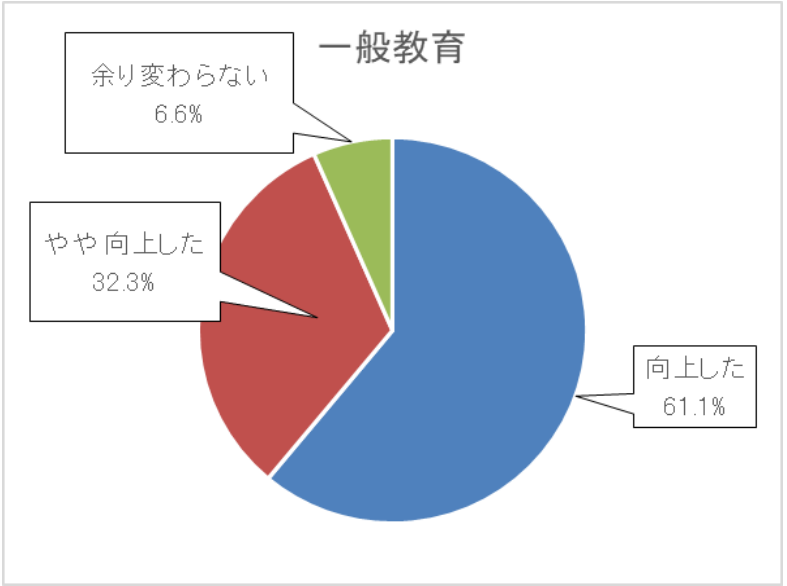
授業開始時の1.6から修了時には2.3へと平均で0.7ポイント伸張しました。最も伸び率の高い科目では1.2ポイントの上昇が見られました。

（3） 向上した項目の割合は全体で67.4%でした。

（4） 授業を受けて自己の能力や技能が「向上した」と回答した学生は61.1%、「やや向上した」と回答した学生は32.3%、「余り変わらない」と回答した学生は6.6%でした。

（ → 右のグラフ ））

（5） 修了時に学生が「A（当てはまる）」と回答した項目は全体の46.7%でした。



【栄養健康学科専門科目：1年次】

（1） 対象科目

食品学総論、食品学実験Ⅰ、基礎栄養学、健康管理概論、栄養指導論Ⅰ、給食計画・実践論、調理学、調理学基礎演習Ⅰ、調理学実習Ⅰ

（2） 各項目の平均ポイント

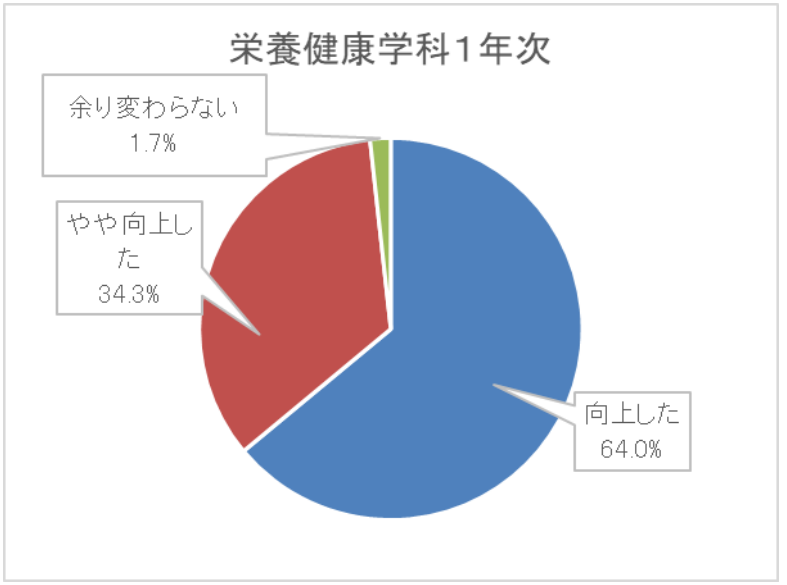
授業開始時の1.5から終了時には2.4へと平均で0.9ポイント伸張しました。最も伸び率の高い科目では1.1ポイントの上昇が見られました。

（3） 向上した項目の割合は全体で75.6%でした。

（4） 授業を受けて自己の能力や技能が「向上した」と回答した学生は64.0%、「やや向上した」と回答した学生は34.3%、「余り変わらない」と回答した学生は1.7%でした。

（ →右のグラフ ）

（5） 修了時に学生が「A（当てはまる）」と回答した項目は全体の47.4%でした。



【栄養健康学科専門科目：2年次】

（1）対象科目

生化学、食品加工学、食品衛生学、臨床栄養学概論、臨床栄養学実習Ⅰ、栄養指導実習Ⅱ、給食実務実習Ⅱ、校外実習事前演習

（2）各項目の平均ポイント

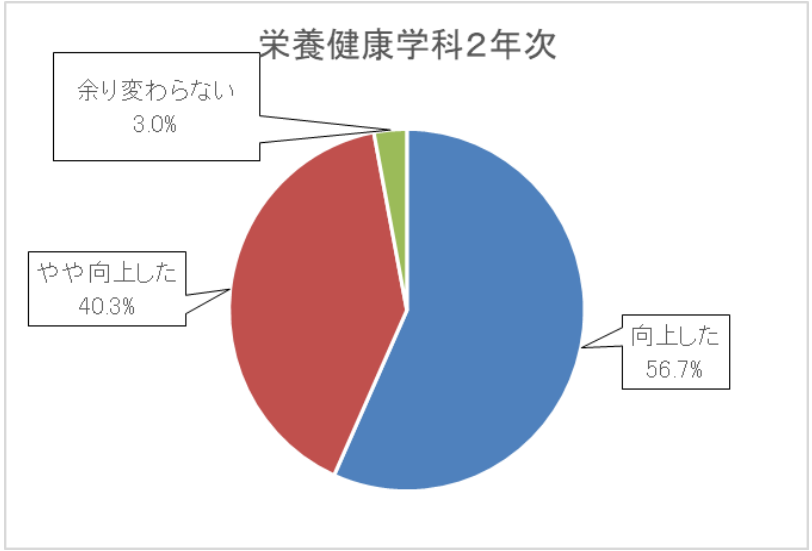
授業開始時の1.5から修了時には2.4へと平均で0.9ポイント伸張しました。最も伸び率の高い科目では1.2ポイントの上昇が見られました。

（3）向上した項目の割合は全体で77.1％でした。

（4）授業を受けて自己の能力や技能が「向上した」と回答した学生は56.7％、「やや向上した」と回答した学生は40.3％、「余り変わらない」と回答した学生は3.0％でした。

（ → 右のグラフ ）

（5）修了時に学生が「A（当てはまる）」と回答した項目は全体の40.6％でした。



【保育学科専門科目：1年次】

（1）対象科目

発達心理学Ⅰ、乳児保育Ⅰ、音楽演習Ⅰ、図画工作Ⅰ、保育実習指導Ⅰ、教職入門、教育心理学、幼児と造形表現

（2）各項目の平均ポイント

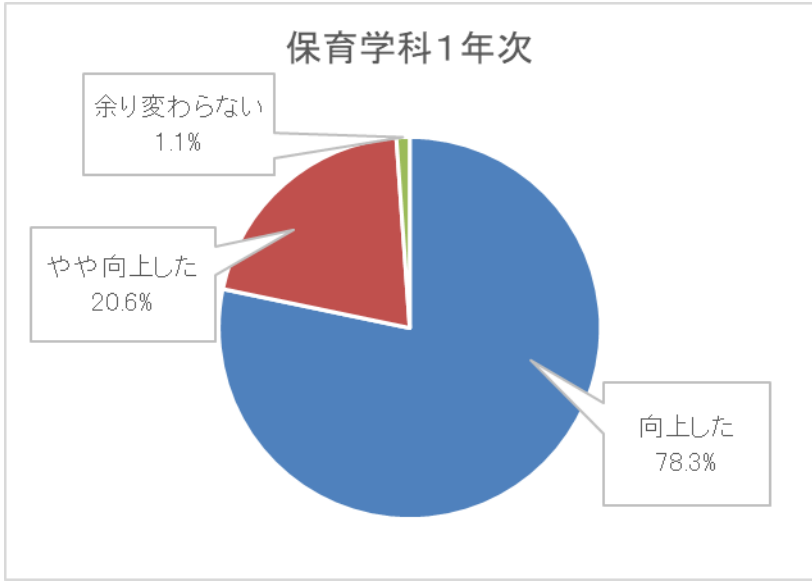
授業開始時の1.2から終了時には2.7へと平均で1.5ポイント伸張しました。最も伸び率の高い科目では1.8ポイントの上昇が見られました。

（3）向上した項目の割合は全体で93.4％でした。

（4）授業を受けて自己の能力や技能が「向上した」と回答した学生は78．3％、「やや向上した」と回答した学生は20.6％、「余り変わらない」と回答した学生は1.1％でした。

（ → 右のグラフ ）

（5）修了時に学生が「A（当てはまる）」と回答した項目は全体の69.2％でした。



【保育学科専門科目：2年次】

（1） 対象科目

子どもの食と栄養、音楽演習Ⅲ、国語演習、保育実習指導Ⅱ、保育実習指導Ⅲ、特別支援教育、幼児と健康、幼児と人間関係、幼児と身体表現、保育内容「言葉」の指導法、幼児理解と援助、幼児教育の方法と技術、教育実習事前事後指導

（2） 各項目の平均ポイント

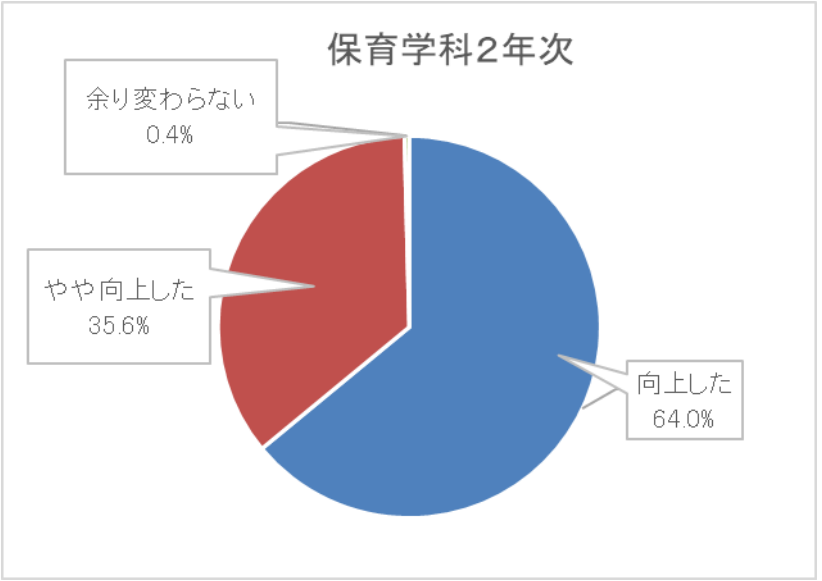
授業開始時の1.1から修了時には2．5へと平均で1.4ポイント伸張しました。最も伸び率の高い科目では1.6ポイントの上昇が見られました。

（3） 向上した項目の割合は全体で94.0%でした。

（4） 授業を受けて自己の能力や技能が「向上した」と回答した学生は64.0%、「やや向上した」と回答した学生は35．6%、「余り変わらない」と回答した学生は0.4%でした。

（ → 右のグラフ ）

（5） 修了時に学生が「A（当てはまる）」と回答した項目は全体の48.1%でした。



非常勤講師担当科目

（1） 対象科目

生命の科学（栄1・保1）、くらしと経済（栄1・保1）、フードスペシャリスト論、解剖生理学Ⅱ、公衆栄養学概論、食品の官能評価・鑑別論Ⅰ、情報概論、パソコン演習Ⅰ、保育原理、教育原理、社会福祉、子どもの健康と安全、子育て支援、教職実践演習Ⅰ、レクリエーション概論

（2） 各項目の平均ポイント

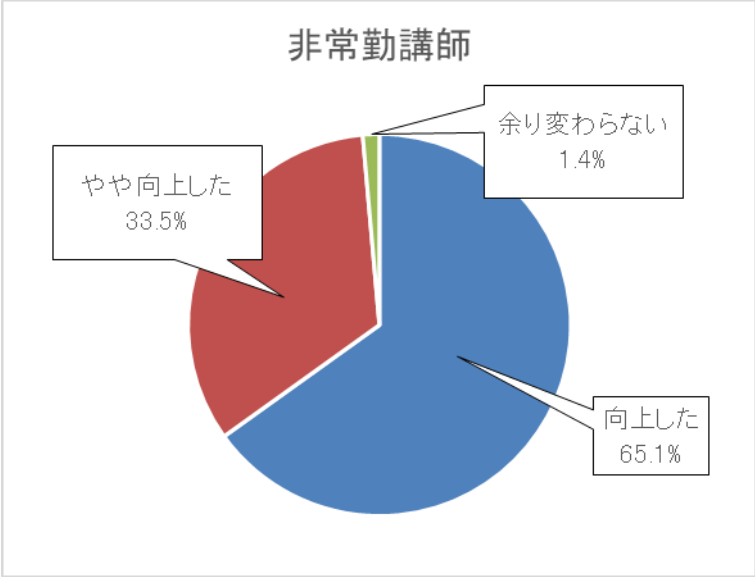
授業開始時の1.3から修了時には2.5へと平均で1.2ポイント伸張しました。最も伸び率の高い科目では1.8ポイントの上昇が見られました。

（3） 向上した項目の割合は全体で89.3%でした。

（4） 授業を受けて自己の能力や技能が「向上した」と回答した学生は65.1%、「やや向上した」と回答した学生は33.5%、「余り変わらない」と回答した学生は1.4%でした。

（ → 右のグラフ ）

（5） 修了時に学生が「A（当てはまる）」と回答した項目は全体の55.8%でした。



6　経年比較（2019 年度から掲載しています。）

※全体・各学科・各学年のA・B・Cは、「常勤教員担当科目（一般教育科目）」、「常勤教員担当科目（専門科目）」、「非常勤講師担当科目」を合わせたものです。

	全　　体			栄養健康学科 1年次			栄養健康学科 2年次			保育学科 1年次			保育学科 2年次		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
2019年度（前期）	39%	53%	8%	31%	59%	10%	42%	53%	5%	43%	49%	8%	38%	56%	6%
2019年度（後期）	45%	47%	8%	28%	45%	27%	38%	60%	2%	52%	41%	6%	43%	53%	5%
2020年度（前期）	52%	43%	4%	34%	59%	7%	39%	53%	8%	59%	37%	4%	62%	36%	6%
2020年度（後期）	67%	28%	5%	63%	31%	6%	42%	47%	10%	70%	25%	5%	71%	27%	2%
2021年度（前期）	56%	41%	3%	34%	59%	7%	58%	38%	4%	53%	44%	3%	65%	33%	2%
2021年度（後期）	69%	30%	1%	41%	54%	5%	76%	23%	1%	71%	28%	1%	75%	24%	1%
2022年度（前期）	60%	37%	3%	45%	49%	6%	51%	44%	5%	64%	33%	3%	71%	28%	1%
2022年度（後期）	62%	35%	3%	65%	32%	3%	46%	52%	2%	55%	41%	4%	75%	25%	0%
2023年度（前期）	65%	33%	2%	58%	39%	3%	56%	41%	3%	74%	23%	3%	65%	35%	0%